

探索オペレーションに関心を持たれる方々や、探索理論の展開に興味を感じられる方々は、ぜひわれわれの部会をご活用ください。また、われわれが気

づかずにいる情報や、探索理論にも応用できるむずかしい理論などをぜひ教えてください。

(岸 尚)



中国四国支部

1. 賛助会員ならびに通常会員の拡大

本年度は、本部の推進活動に協力する意味も含めて、賛助会員ならびに一般会員の拡大を計画している。2年来、岡山地区の増強を企図してきたが、その手始めに、岡山市において2日間のOR研修会を情報処理関係者を対象に年度内に開催をぜひ実施したい。

支部の目標として、賛助会員2社、通常・学生会員15名程度の入会を勧誘し実現するように努力する。

2. 研究活動

本年の初めから、日本工業経営学会とタイアップして、作業研究部会と基礎研究部会の2部会を発足させ、原則的に月1回定期的に開催することにして、構成は広島市とその周辺の大学関係の若い研究グループを糾合した形であるが、企業サイドの会員にも参加を呼びかけている。ちなみに、その内容を分類すると、

- | | |
|--------------|----|
| (1) システム関係 | 4件 |
| (2) スケジュールング | 1件 |

- | | |
|--------------|----|
| (3) 順序づけ問題 | 1件 |
| (4) コンピュータ利用 | 1件 |
| (5) 習熟問題 | 1件 |
| (6) 作業測定 | 2件 |
| (7) 数量化問題 | 1件 |
| (8) VE | 1件 |

計13件の発表があった。

3. 講演会の開催

本年度計画は2回であるが、10月までに下記のようにすでに実施し、今後1回の開催を決定している。

- | | |
|--------------------------------|----------|
| (1) 情報処理システムのレベルアップと
ORの役わり | 日立 味村重臣氏 |
| (2) ミニコンを応用した計測システム | 日立 木下敏雄氏 |

4. 中国一四国地方共通の社会問題とOR

前に、予言しておいたが、現実の姿として、瀬戸内海の汚染問題、沿岸コンビナート、製鉄関係その他の発生源による公害問題が深刻化してきた。OR的観点からの問題提起の必要があると思う。この問題にとりくむためにテクノロジー・アセスメントの立場から、まずその接点の研究の推進が必要であり、現在協議中である。(松富記)



日本オペレーションズ・リサーチ学会 文献賞の制定について

故大西定彦氏を記念する大西記念文献賞が、基金10万円を残すのみとなりましたので、この大西賞の主旨を尊重し、表彰を継続すべく、当学会の基金の活用により、標記文献賞を制定し、1973年度より実施することになりました。

本賞は、法人化基金の利子により、大西賞と同額

の賞金(10万円)を授与し、大西賞基金残高を繰り入れて制作された表彰額をもって、大西賞の主旨を永続的に継承いたします。

会 合(47年10月~11月)(カッコ内は出席者数)

- 第5回理事会 47.11.7(18) 議題 1. 第4回理事会議事録の承認 2. 表彰規程の変更と今後の問題の件 3. 組織強化委員規程(案)と会員増強の件 4. 第7回IFORS/TIMSの件 5. 会計報告と承認